



人形編



三味線編



太夫編

発行 京都Re-Search実行委員会(京都府、京丹波町ほか)
制作 山成研究所

京丹波町和知といえば、京都の中腹にある町。栗や黒豆で有名な町という印象です。でも最近知ったのが、農家さんや町の人が親しんで今に伝えてきた芸能があるということ。その一つが「和知人形浄瑠璃」。一般的な人形浄瑠璃は三人で一人の人形を動かすらしいのですが、和知では人手が揃わなくてもできるように、一人で一人の人形を操る技芸が今に伝えられています。今から三百年くらい前から続けてこられた伝統文化。なぜこの町で長く受け継がれてきたのか。何か特別なワケがあるのではないかと。



今回和知の方々に案内してもらい話を聞いたり公演を観せてもらって気づいたことは、この芸能は暮らしの中にあるものだということ。決して「敷居の高い」「伝統芸能」ではなく、素朴で和知独自の文化だということでした。和知の人形浄瑠璃とはどのようなものなのか。私たちは使われている道具や所作、動きを知り、まねてみることで、少しその世界に触れてみようと思えます。人形浄瑠璃は人形遣い、三味線、太夫(語り)の三者が一体となる総合芸術だと言われています。今号ではまず、人形遣いの「人形」について紐解いていこうと思います。

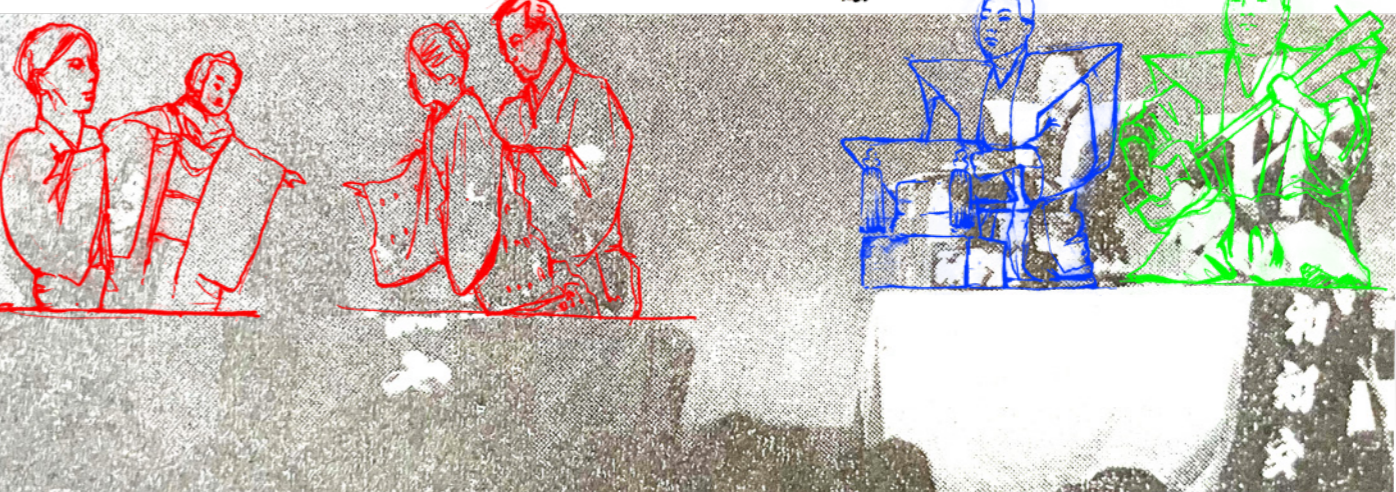
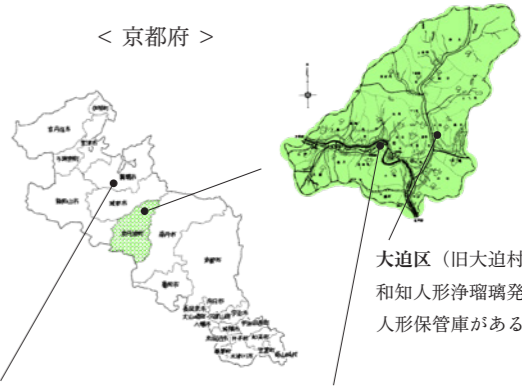


写真:「広報わち」昭和43年4月15日号より、京丹波町提供 画:中井梓太郎

わち 京丹波町「和知」の場所

< 京都府 >



大迫区(旧大迫村) 和知人形浄瑠璃発祥の地。人形保管庫がある。

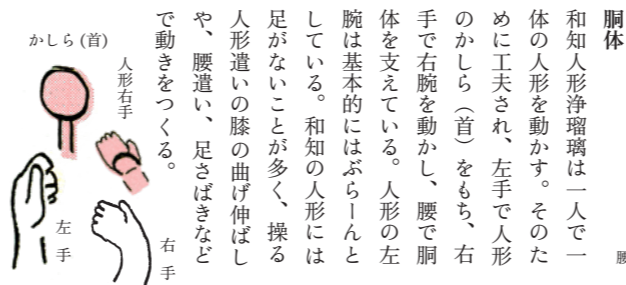
舞鶴

伝説芸能常設館 和知人形浄瑠璃会が定期公演を行っている。

和知に伝わる人形の特徴



かしら(首) 和知人形浄瑠璃で使われる人形のかしら(首)は一般的には淡路型と言われ、他の地域と違い少し大きい。喜怒哀楽の感情を表現するために、目や口、眉が動く仕掛けになっているものもある。引っ張るパネの仕掛けには、くじらのヒゲが使われている。演じる角度や技巧によって表情が変わるよう、平常時は無表情になっているものが多いらしい。顔の色が白いものは重要な役が多く、舞台上で美しく見えるよう工夫されている。



「まねっこ浄瑠璃」今後の予定

<ワークショップ>

それぞれの所作を、みて、きいて、まねっこしながら、体験!
9/28(日)まねっこ三味線
10/12(日)まねっこ人形
10/19(日)まねっこ語り

<パフォーマンス>

10/25(土)まねっこ浄瑠璃大行列(観覧自由)
詳しくは、WEBサイト「KYOTOHOOP」をチェック!



人形保管庫



人形は譲りうけたものも多く、全部で50体ほどあり、かしらや衣装、小道具や床本などが保管されている。今回はその中でも現在上演されている5つの演目よりいくつかの人形を紹介。

人形撮影 辰巳雄基

傾城阿波ノ鳴門

順礼歌の段



新しくつくられた地元の実話を基にしたオリジナル演目 「長老越節義之誉」

ちやうろうこえせつぎのほまれ 山中の段・猪平宅の段 子別れの段

つばさかれいげんき 沢市内の段・山の段



※この2体のみ3人で動かす

人形遣い



和知人形浄瑠璃 江戸時代末期に大迫村(京丹波町大迫)で始まったとされる。おおぶりな人形を一人で作る「一人遣い」は和知ならではの特色。京都府無形民俗文化財。和知人形浄瑠璃会が保存と継承に取り組んでおり、道の駅「和(なごみ)」の伝説芸能常設館で定期公演を行っている。随時、会員募集中。

山成研究所 やまなりけんきゅうじょ 亀岡市を拠点に、身の回りの小さなものごとについて、こどもやおとなたちと一緒に発見し考える場をつくる。辰巳雄基とらーから成るアートユニット。

新聞「まねっこくらぶ」 山成研究所の2人が和知人形浄瑠璃について調査。お話を聞いたことを皆さんにお伝えしていきます。併せて地域の方が大切にしている人形たちをリサーチ! 和知人形浄瑠璃・そして人形と人との関わりかたに迫ります! 全3回発行。

WEBサイト「KYOTOHOOP」 WEBサイト「KYOTOHOOP」にて、閲覧・ダウンロードができます。

実はチームのリーダー
リズムと結婚して
子どもがいる(2匹)
兄ヤーちゃん
弟トカちゃん



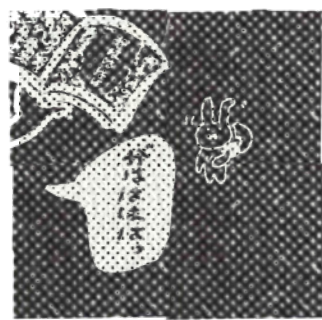
なまえ: 朝村やも / 33さい
どこからやってきたかは
不明
特技: 戦いが強い
たまに負ける
ピースができる
チャームポイント: 鋭い目



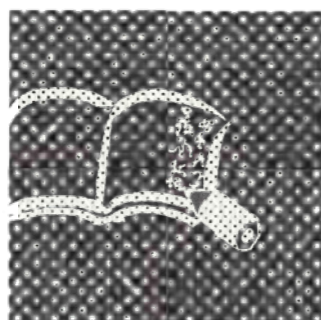
なまえ: ニューちゃん / 4さい
福井からやってきた



これであなとも
まねっこ浄瑠璃



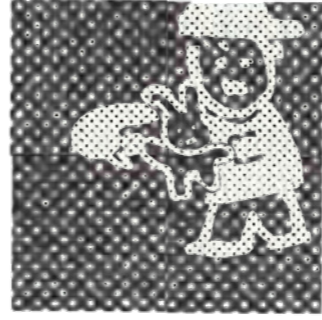
人形をうごかす



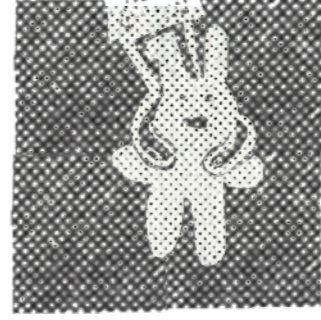
読んでくれる人を探す



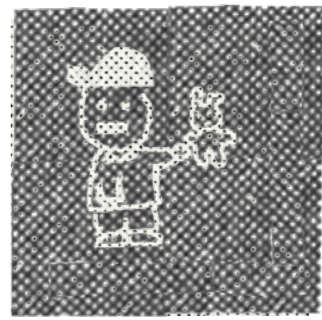
④ 人形になりきる



③ 右手で人形の右手を持つ



② 左手で人形の首を持つ



① 一人で持つ

① 人形をえらび (首と手のある人形)

まねっこ劇場

なまえ: カーブ / 8さい
走った時にカーブを曲がれたからカーブ
お父さんの実家からきた / めっちゃ昔からいるかも
特技: おすわり
性格: いつも真剣に行動している
チャームポイント: たれ耳



お風呂と一緒に入り、頭はシャンプー、体はボディソープで洗った



お母さんのストレッチローラーに住み着いている
ストレッチの時に抜かれる

なまえ: エリザベス・エンダー / 4さい
アルブラからやってきた
神様
チャームポイント: 口 (小さくたいら)



まっすぐ飛ぶ
けっこう早く飛ぶ
羽の力ではなく
神様の力で
飛ぶ



エリザベス・ワンダー
という弟がいる
片目がとれて
赤ペンで塗られている



なまえ: しろたん
生まれた時から家にいた
特技: 泳ぎ
チャームポイント
小さいまゆげがぶっくり



なまえ: たこびー
最近大阪万博からやってきた
特技: 頭の上のことに
人格が変わることができる
白い方は目が光っていていつも感動している / 青い方はいつも無表情
チャームポイント: 一心同体になる

赤いたこの
ともだちがいる

おばあちゃん、お母さんと3人で
目以外の生地を全部新しく
はにかえた

なまえ: かわうー
岐阜のアクアトトからやってきた
魚はなんでも食べる
特技: めっちゃ横に伸びる
性格: 用心深い
チャームポイント: やらかい



和知人形浄瑠璃に加えて、地域の人たちが大切にしている人形のリサーチを行っています。
あなたの家にある人形について教えてください。(今年の9月30日まで受付中)
ぬいぐるみやフィギュア、手作りの人形など大きさやかたちは問いません。
出会いのきっかけ、今までどんなことがあったのかなど、あなたと人形の思い出や物語を教えてください。
詳しくは、WEBサイト「KYOTOHOOP」をご覧ください。



なまえ: マンモ / 16さい
クリスマスにきた
特技: 長いきばで耳をかく
鼻でバランスをとれる
性格: 元気
チャームポイント: ほったた

目のボタンがまる
ほったたの赤色は色鉛筆

なまえ: うりちゃん / 5さい
日吉町生まれ / みようみまね
でミシンを使い、5,6歳の
時につくった
性格: シャイ / 自分のこと
を「あたい」という
チャームポイント: 片耳
が細くなっている



なまえ: 名なし / 9さい
京都生まれ / 巳年の時にうちにきた
性格: 優しい / 噛まない / 怖くない
チャームポイント: 目が赤いところ
全長3mにもなる (家にいる人形で一番大きい)



弟の小さい蛇もいる

お母さんがつくってくれた
紫色の服を着ている
友達のスーちゃんもお揃いの服を着ている
後ろのボタンの色が違う



なまえ: スーちゃん / 2さいか3さい
性格: びっくりした時に耳が立つ
耳を立てながら攻撃してくる
こともある
チャームポイント: いつも手作りの服
を着ているところ



ちまたではつけん
にんぎょういんたびゅー
☆のどでめ
★のどでめ



山成研究所
人形レポーター: やま吉
人形の絵: うー

インタビュー協力
*育ちとつながりの家ちとせ
*びばべ実験室
*京丹波町・南丹市・亀岡市
など地域のこどもたち

